

〈2023年2月21日〉

説明資料

## Locipo(ロキポ)とは

名古屋に本社を置く民間放送局4社が共同で、動画を中心とした さまざまな情報を配信する公式サービス。

参加する4社は、エリアの放送局が"一つのプラットフォームに情報を集約"することで、高いユーザーメリットとコストパフォーマンスの向上を目指し、 国内で初めてローカル局が共同で運営するシステムを構築した。

激変するメディア環境の中で、エリアの『地域情報』を自らの仕組みとルールでインターネットを通じてエリアのユーザーに届けることが最大の目的である。

▶ 参加放送局 東海テレビ放送株式会社 中京テレビ放送株式会社

株式会社CBCテレビテレビ愛知株式会社

▶ サービス名称 ラテン語でローカル(地域)を意味する"Loci"と

英語で入口を意味する"portal"を組み合わせた造語

·

▶ 対象デバイス PC・スマートフォン・タブレット

▶ 提供サービス 無料アプリ(iOS/ Android) Webサイト (PC/SP)

▶ サービス開始日 2020年3月27日(金)

Locipoアプリ 2022年10月リニューアルの 新インターフェイス(トップ画面)



# Locipo(ロキポ)主な配信コンテンツ



Locipoを運営する4局が独自制作をしている、情報番組、ニュース、バラエティなど東海地方の「ローカルコンテンツ」をこのサービス上で一堂にみられる





地上波・データ放送・イベント

Locipoではその運営を通じて、配信プラットフォームのみならず、様々な取り組みを「共同」で行える横連携の共同体意識が醸成されている。これにより単局だけではなしえない新しいかたちでの「地域情報の伝達」を実現する可能性が出てきている。

Locipo<テレビ> 4局の集めた地域情報動画が一堂にみられる

Locipo <ニュース・読みもの> 4局の集めたローカルニュースや生活情報がテキスト形式で一堂にみられる

Locipo < ライブ > 4 局のライブ配信が一箇所で閲覧

Locipo<ロケマップ> 4局が取材した"街"の動画情報がマップとともにみられる。放送した番組の情報を

ストックコンテンツとして利用できる

#### <これまでの配信実績>

- ・愛知県知事COVID-19関連記者会見(ライブ配信)・地域のスポーツ・地上波でO.Aされていない地域コンテンツ
- ・4 局地上波連動番組 ・イベント事業 (コンサート、イベント) ・地上波番組同時配信など

<ニュース画面>

#### 身近なニュースを お届けします



#### <ロケマップ画面>

# 

#### ▶ 緊急ライブ配信(報道) 稼働中

緊急災害時に各放送局がいち早くライブ配信開始できるよう、報道担当者のみで運用が可能なシステムを構築している。(※右図参照))

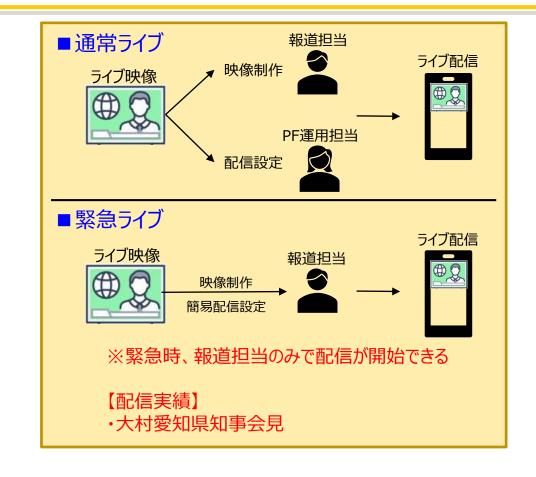
#### ▶ 地域行政との連動提案 提案中

Locipo参加局共同で、地上波データ放送への災害情報などの発信機能について、行政に対して提案をしている。(※下図参照)

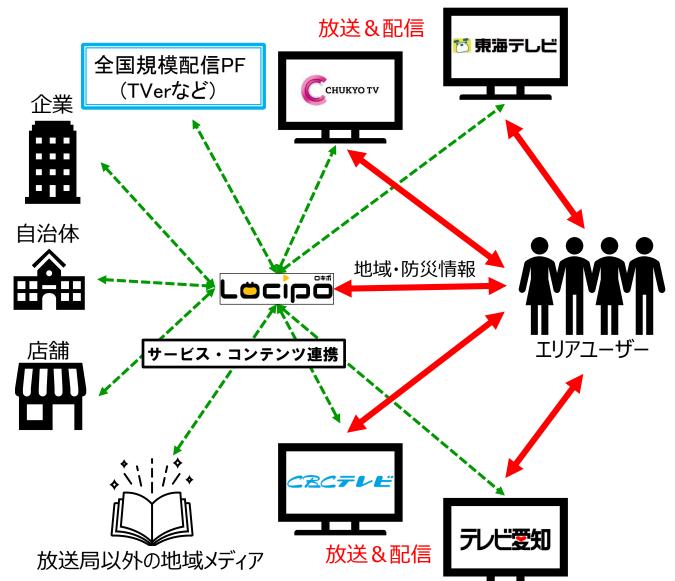
行政側が出したい情報を行政担当者向けの専用CMSにより、様々なデバイスで情報提供を可能とするシステム検討などが行われている。

Locipoの運営組織を通じた密な連携により、エリア放送局の共同体としての考え方が浸透している成果であり、同時に行政や連携企業側からは、個社でなく共同体であることで連携がしやすいと評価されている。





## Locipoが目指す地域情報サービスの理想像



#### 地域ポータルモデルとしての構想

- エリアのユーザビリティ向上のために、テレビ受信機 およびインターネットサービス等がコンテンツとデータ で連携し、広いタッチポイントで地域の方々に求められ る情報をユーザに届ける仕組みを検討している。
- 防災の観点からも、様々なデバイスから情報取得が可能なシステムを検討している。
- 現状のスマホ/PC向けサービスから、将来的にはコネクティッドTV等においても、地域情報がエリア毎のユーザーに流通しやすくなるかたちを検討している。
- 地域活性化のために、自治体や地元企業、店舗とも 連携し、エリアのユーザーに有益な情報を届ける取り 組みも進めている。
- これらの地域連携が実現すればエリアのコンテンツ価値は向上し、配信時代のローカル局の経営強化も期待できる。

## 地域情報を伝えるための理想的なシステムを構築する上での、ローカル局の課題

#### ・全国規模配信プラットフォームでの地域情報の埋没

⇒情報を必要とするエリアユーザーに到達しやすいユーザーインターフェースを、地域のニーズを把握しているローカル放送局として開発し、このモデルを全国規模配信 P F (TVerなど)とも連携し、広い範囲で利用促進する必要がある。

#### ・インターネット時代の放送波チャンネルの埋没

⇒これまでの放送形態にとらわれず、コネクティッドテレビ、スマートフォン、その他様々なデバイスを連携し、ユーザーにとって利用しやすいかたちでのエクスペリエンスを構築していく。

#### ・視聴データの利活用

⇒地上波放送で求められる視聴データの適切な取扱いを前提に、収益性やユーザーニーズ把握による サービス向上のため、エリア内連携での視聴データ分析は最重点課題であり、分析や活用スキルの向上 を目指している。

#### ・動画配信の乏しい採算性

⇒インストリーム広告に加え、地上波放送の視聴データや配信のユーザーデータなどを活用した、 エリア企業等のニーズに応える集客ソリューションなどを開発し、持続可能な収益源を獲得していく。

### ・放送&配信運営の業務拡大による人材獲得や効率化の課題

⇒在名4局で連携し、知見の共有、運営の効率化、コストの分担を図っていく。

## Locipoが目指す、放送コンテンツの流通促進についての取り組み

- 1) コンテンツにおける流通を促進する観点から、東海地方(中京広域圏)における地域放送事業者の連合体として、 地上波放送とインターネットサービスを連携したモデルを構築することで、地域のユーザーにとって心地の良いコン テンツラインナップとインターフェースを提供できると考えている。
- 2) 地域コンテンツのインターネット上における流通を促進する観点から、Locipoのような地域放送事業者の連合体が 主体となって運営するユーザーインターフェースは、これまで地域の視聴者に親しまれてきた地上波放送同様に、イ ンターネット上の情報提供サービスとしても利用促進に貢献していくものと考えており、今後更なるサービスの拡大を 目指す必要があると考えている。
- 3) Locipoの配信システムは、自らを本店として活用しながら他のプラットフォームへもコンテンツを供給できる機能を有しており、Locipo以外の多様な事業者が運営するプラットフォーム等へも、地域のコンテンツを効率的に配信することが可能であるため、地域情報流通の観点から更なる配信先の拡大を検討している。
- 4) 地域の放送コンテンツを地域内の視聴者や地域外の視聴者にも安定的・継続的に届けていく観点から、全放送局のコンテンツを全国規模配信プラットフォームに統合的に集約しつつ、その上で各地域の視聴者にあったラインナップをLocipoのような各地域のローカル放送局連合体が構成・管理する仕組みを構築することが、その地域に親しみのある利用者にとって利便性の高い情報提供に有効であると考えており、取り組んでいきたい。